

第3次岐阜県教育ビジョンの体系（案）

第2次岐阜県教育ビジョン	社会情勢の変化	岐阜県の教育の現状		第3次岐阜県教育ビジョンの体系
「地域社会人」の育成	人口減少・急速な技術革新	一人一人のニーズに対応した「可能性」と「チャンス」の環境づくり		オール岐阜による「地域社会人」づくり
1 確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進 確かな学力の育成 特別支援教育の充実 グローバル社会で活躍できる人材の育成 多文化共生社会を目指した外国人児童生徒の教育の充実 キャリア教育の充実 産業教育の充実 情報教育の推進 幼児期からの教育の充実 私立学校教育の振興	○社会経済情勢の変化 人口減少・少子高齢化の進展 ・「超高齢化社会」は継続 ・現役世代（15～64歳）は減少傾向 ・中学卒業予定者は長期的に減少傾向 雇用環境の変化 ・雇用形態の多様化、定年制の延長 ・女性雇用者数は年々増加 急速な技術革新 ・超スマート社会の到来 ・AIやロボットで代替可能	ふるさと教育 ・広域的な体験活動等を通してぎふへの愛着を育む ふるさと教育の推進が必要 ・地域産業の特徴を体験できるキャリア教育が必要 高等学校の状況 ・国公立大合格者は減少傾向 ・就職率は全国平均に比べ高い、内定率はほぼ100% ・専門学科の構成比が、全国に比べ高い ・生徒減少期を見据えた、県立高校の活性化の継続 特別支援教育 ・特別支援学級や通級で指導を受ける児童生徒の増加 ・特別支援学校高等部の生徒数は増加 不登校 ・小中学校で増加傾向、高校で減少傾向 中途退学者 ・中途退学者は減少、通信制の入学者は増加	基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成口 1 キャリア教育の充実 2 体験活動の充実や伝統や文化等に関する教育の推進 3 グローバルに活躍する人材を育成する教育の推進 4 科学技術やものづくりなど、優れた才能や個性を伸ばす教育の推進 5 産業教育の推進 6 未来を創り出す人材を育成する高校づくりと学校マネジメントの推進	
2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 心の教育の充実と望ましい人間関係を築く力の向上 人権教育の推進 いじめ等の問題行動や不登校への対応と教育相談体制の充実 ふるさと教育・環境教育・体験活動の推進 健康・体力づくりの推進 食育の推進	家庭環境の変化 ・ひとり親世帯の増加 ・児童のいる世帯の平均所得低下 ・経済的格差が子どもの進路に影響 ○国の動向 ・第3期教育振興基本計画（H30） ・新学習指導要領 ◇「主体的・対話的で深い学び」 ◇「カリキュラム・マネジメント」 ◆小学校（H30～先行実施、H32～全面实施） ◆中学校（H30～先行実施、H33～全面实施） ◆高等学校（H31～先行実施、H34～学年進行で実施）	いじめ ・認知件数は小学校・高校で増加傾向 外国人児童生徒 ・増加傾向、日本語指導を要する児童生徒増加傾向 国の動き ・新学習指導要領の実施（小中H30・高校H31～先行実施） ・高等学校教育改革、大学入試制度改革の実施 小中学校の学力 ・全国平均に比べ、小学校は低調・中学校は好調 ・知識問題に対する課題が大きい 豊かな心の育成 ・道徳教育、人権教育など豊かな心を育む教育の継続 主権者教育など ・新しい教育課題に対応するための教育の推進が必要 小中学校の体力 ・小学校は全国平均、中学校は上位 健康教育・食育 ・がん教育や薬物乱用防止教育などの対応が必要	基本方針2 多様な学びを支援する教育体制の充実 7 特別支援教育の推進 8 修学支援と学びの再チャレンジの推進 9 多文化共生社会を目指した外国人児童生徒等の教育の推進 10 いじめ等への対応の徹底 11 私立学校教育の振興 基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進 12 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進 12-1 (1) 義務教育段階での確かな学力の育成 12-2 (2) 高校教育段階での社会で生きる学力の育成 13 道徳教育の充実・人権教育の推進 14 主権者教育・消費者教育の推進 15 体力づくりの推進 16 健康教育・食育の推進 17 小学校への円滑な接続を図る幼児期教育の充実	
3 魅力ある教職員の育成と安全・安心な教育環境づくりの推進 優秀な教職員の確保と人事システムの構築 教職員の資質能力の向上と体罰・不祥事の根絶 学校マネジメントの推進 安全・安心な学校づくりと危機管理体制の充実 学校施設の整備の推進 修学支援と学びの再チャレンジの推進	◆大学入試改革 ◆高等学校基礎学力テスト（H31～） ◆大学入学希望者学力評価テスト（H32～） ・東京オリンピック（H32） ○県の動向 ・H25 第2次教育ビジョン策定 ・H26 スポーツ及び美術館等が知事部局へ移管 ・H27 総合教育会議設置、教育大綱策定 ・H29 文化等が知事部局へ移管 ・H30 教育ビジョン・教育大綱策定予定	教員の資質向上 ・ベテラン教員の大量退職と教員採用数の増加 ・新しい教育課題に対応するための研修の充実が必要 ・体罰、不祥事の根絶への取組について、今後も継続 勤務環境の改革 ・教員の時間外勤務・長時間勤務は減少傾向 ・ハラスメントやメンタル不調等の相談窓口設置 ・一過性のものでなく、継続的な支援体制整備が必要 校舎等の老朽化 ・老朽化が進む校舎の予防保全のための改修と改築 ・適正な校舎規模・機能についての検討が必要 ICT環境の整備 ・高等学校での整備の遅れ 情報モラル ・児童生徒の携帯電話等の保有率は増加傾向 安心・安全が学校づくり ・防災、犯罪、アレルギー等の困難な課題が ・地域との連携やPTA活動の在り方の検討が必要	基本方針4 教職員の資質向上と勤務環境の改革 18 優れた教職員の確保と資質能力の向上 19 体罰、不祥事の根絶とコンプライアンス意識の確立 20 ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決 21 長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の推進 22 人事評価制度の検証と学校の組織体制の確立	
4 学校・家庭・地域の連携による教育コミュニティづくりの推進 家庭の教育力の向上 地域の教育力の向上			基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり 23 学校施設の整備と充実 24 ICTの環境整備と利活用の促進 25 子どもたちの安全・安心の確保 26 家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進	
5 生涯にわたる学習・文化・スポーツの推進 文化活動の推進 文化財の保存・活用の推進 スポーツの推進 生涯学習の推進				
重点政策 学力向上を核とした小・中学校教育の改善 中長期的な将来を見据えた高等学校の改革 卒業後を見据えた特別支援学校の充実				